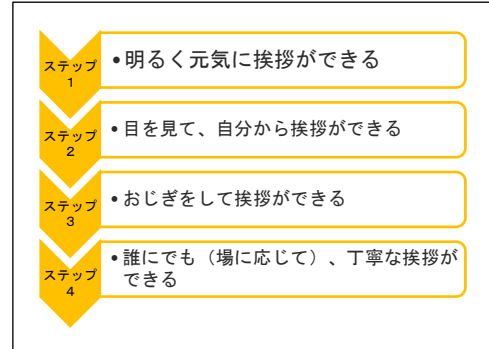


## 校長室から (NO. 24)

### 「素敵なあいさつ」

本校には、気持ちのよい挨拶として、4つのステップが示されています。どのステップも、できるところから取り組めればよいとしていますが、やはり、「場に応じて、誰にでも丁寧に挨拶ができる」ことは、なかなかできないものです。つまり、「おはよう」や「さようなら」といった決まった場面ではなく、とっさの場面での受け答えをどうしたらよいかということです。



3学期が始まって間もないころ、こんな素敵な場面に遭遇しました。

始業式の「がんばり発表」で3学期の目標を述べた子供に、「はきはきと言えてましたよ」と声をかけました。たいへいは、うれしそうな表情でうなずいてくれます。それだけでも十分なのに、「ありがとうございます」という挨拶の言葉が返ってきたことにたいへん驚きました。そして、なんとその子は1年生でした。

また、ある朝、玄関前に立っていましたら、いつもと違った手提げ袋に荷物を入れてきた子供が登校してきました。私が「素敵なバッグね」と声をかけましたら、これもまた、「ありがとうございます」と2年生児童が返事をしてくれました。

私のうれしかった思いと併せて、「本校児童の中には、もうすでに、臨機応変に場に応じた挨拶を使い分けられる力が身に付いてきているのではないか」ということを教職員で共有いたしました。



素敵なあいさつのキャッチボール、  
全校に広まっていけばよいなあと思います。